

Goodmill Questant無償解放プログラム活用事例紹介

ETIC. 特定非営利活動法人エティック様

ETIC様の概要はこちら → <https://www.etic.or.jp>

特定非営利活動法人ETIC.様は、東日本大震災の前後において、日本のソーシャルビジネスがどのように変化・進化・成長をしたのが実態を把握するため、マクロミルが実施しているCSV活動 Goodmill の Questant 無償解放プログラムを活用し、各方面の活動主体を対象とした調査を実施。

「ソーシャルビジネス白書」としてとりまとめられました。

調査は、記述式の回答を主体とした構成で、**1.2010年と2017年の各時点における組織の変化**、**2.主な事業と成果・2025に向けた目標**、**3.組織課題と解決方法の過去・現在・未来**、**4.対象の社会的テーマの課題と解決方法の過去・現在・未来**について聴取。Questantでの直接回答に加え、紙（MS-WORD）ベースでの調査票原稿も作成し回答を事務局にてQuestantに入力されたとのことです。

【1】組織・事業の概要についてお尋ねします

Q2. 創業年を教えてください(西暦)
 (「事業開始年」と「組織設立年」が異なる場合は、その早い方を教えてください)

選択してください

2010年度(平成22年度)と2017年度(平成29年度)、それぞれ時点での事業内容の概略、収入総額と内

※2010年時点で創業していない場合は、2010年度の欄は空欄もしくは(ゼロ)とご記入ください。

Q3. それぞれの時点での事業内容の概略を教えてください。
 (2010年時点で創業していない場合、その欄は空白で結構です)

(記入例) ※ETIC.の例
 ・大学生対象の長期実践型インターンシップ
 ・若手社会起業家支援(社会起業塾など)
 ・地域でのインターンシップ推進支援
 ・その他、セミナー、調査・研究

【2010年度】事業内容の概略(最大200文字)

0文字

「ソーシャルビジネス白書」調査票

回答に当たっての説明書、社内共有、一時保存用にお使いください(インターネットの調査票は回答途中での保存はできません)。また、レアウトを見やすくする為の回答欄はインターネットの調査票とは異なりますが、案内内容は同じです。

1 組織の概要についてお尋ねします。

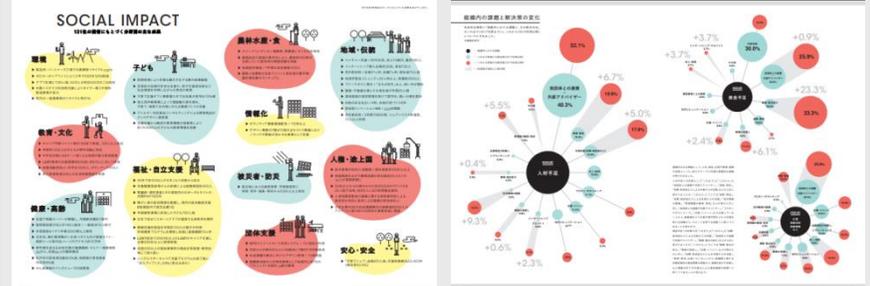
前年度(西暦)をご記入ください。(事業開始年と組織設立年が異なる場合は、早い方を教えてください。)

■ 事業内容、収入、スタッフ数についてお尋ねします。

【2010(平成22年度)】の概略と、【2017(平成29年度)】の概略、それぞれについて下表にご記入ください。

事業内容	2010(平成22年度) 概略	2017(平成29年度) 概略
ETIC.の例: ・大学生対象の長期実践型インターンシップ ・若手社会起業家支援(社会起業塾など) ・地域でのインターンシップ推進支援 ・その他、セミナー、調査・研究		
収入総額	万円	万円
収入の内訳 (経理上、内訳) (合算保持会社含む) (合算保持会社を除く)	万円	万円
会費・寄付収入	万円	万円
助成金収入	万円	万円
スタッフ総数 ※1. 役員数 ※2. 専らボランティア・会員など、協力者数	人	人

※1. 2010年度時点で創業していない場合は、2010年度の欄は空欄のままで結構です。
 ※2. スタッフ総数については、年度末時点の数字をご記入いただければと思いますが、正確な数字を把握するの難しい場合は年度平均などの別の時点でも結構です。
 ※3. パートタイムスタッフも含む。例:フルタイム2人+パートタイム0.5人×3人の場合、3.5人、



編集・発行
 委員長 中村陽一 (立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科)
 編集長 川北秀人 (IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所])
 委員 宮城治男 (特定非営利活動法人エティック)
 町野弘明 (一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク)

事務局 特定非営利活動法人エティック
 一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク

※レポートの詳細は下記URLを参照
<https://www.etic.or.jp/data/pdf/2019hakusho.pdf>